

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-64

学校名・団体名	稲沢市立稲沢東小学校
HPアドレス	http://www.inazawa-aic.ed.jp/eines/index.html
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	「多様な学習活動（プラスワン）を充実させるために」
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>1・2・3年生について、火・水・金曜日に6時間目の活動の特設している。それにより、一斉下校を行い、安全な下校を確保することをねらいとしている。また、保護者が安心して働ける環境をつくり、子育て支援につなげることもねらいとしている。</p> <p>特設時間には、児童にとって楽しく、知的好奇心の高揚につながるような多様な学習活動が展開できるように研究を進めた。</p>	

<活動・研究報告>

多様な学習活動（以下、プラスワン）は、日常の授業ではなかなか行えない遊びや工作をしたり、異学年の児童と交流しながら遊んだりすることができ、大変有意義な時間となっている。

各学年、児童の発達段階や特性を考慮しながら、カリキュラムを工夫し、児童がのびのびと楽しく活動できるように取り組んだ。

1 活動・研究の概要

(1) ねらい

児童の知的好奇心を高揚させたり、多様な学習活動を体験させたりし、児童の深く豊かな学びを支える。

加えて「児童の安心・安全な下校」や「働く家庭の子育て支援」にも寄与することも意図している。

(2) 主な活動内容

- ・ 体を動かす活動
- ・ 児童相互の交流が深まる活動
- ・ 知的好奇心を高める活動
- ・ 作って遊べる工作的な活動
- ・ 時節に合わせた活動
- ・ 行事の準備やふり返りの活動
- ・ 動物とふれあう体験的な活動
- ・ 異学年との交流

2 活動・研究の実践

児童は、プラスワンの時間をとても楽しみにし、目を輝かせて活動した。様々なカリキュラムを行うことで、互いを知り、親しみを感じ合い、学級・学年の輪が広がっていった。

(1) 1年生の実践

5月【しっぽとり】おにごっここの1つである「しっぽとり」を学年全体で行った。体をいっぱいに動かし、広い運動場を全力で走り回った。どの児童の顔にも笑顔が広がり、楽しい学年交流の場となった。

9月【プレゼントづくり】がんばって水やりをして大切に育てたアサガオの種を収穫した。それを来年の1年生にプレゼントするために、折り紙のプレゼント袋を作った。ていねいに絵を描いたり色を塗ったりした。「大切に育ててね」「きれいな花を咲かせてね」という温かいメッセージを書く姿が見られた。

11月【生き物とふれあおう】獣医師会より4名の医師を招いて、ウサギとふれあう活動を行った。一人ずつウサギを膝に抱き、その暖かさや躍動感を肌で感じる事ができた。また、ウサギの心臓の音の速さに驚きの声を上げた。最初は、どきどきしていた児童も身近に命を感じることができ、貴重な体験となった。



5月 しっぽとり



9月 プレゼントづくり



11月 ウサギとふれ合おう

(2) 2年生の実践

5月【1年生に教えてあげるよ】折り紙で遊ぶ内容である。今回は、「ぴよんぴよんカエル」や「からす」の折り方を1年生に教え、それらを使って一緒に遊んだことで、1年生と仲良くなり上級生としての自覚を育てることもできた。

9月【UFOを飛ばそう】2つの紙コップに放射状の切れ込みを入れ、ステープラで合わせてUFO型のおもちゃを作った。カラーペンで色を付け、みんなで飛ばした。UFOをよく飛ばせる子がいれば、あまり飛ばせない子もいた。「UFOを遠くに飛ばしたい」という思いからよく飛ばせた子に投げ方のコツを聞く児童、級友から聞いて紙コップを重ねるなど工夫してUFOを作る児童の姿が見られた。試行錯誤してものを作る経験や同級生からの情報を取り入れて自分のもの作りに役立てる経験となった。

12月【学年集団遊び】学年で体育館に集合し、集合ゲームと音楽ゲームをミックスした学年遊びをした。「こっちにおいで」「早く!」「キャー」と歓喜の声と紅潮した顔によって、寒い体育館が熱気でいっぱいになった。集団遊びの楽しさに興奮した2年生が、力いっぱい走り踊った。これまでつながりの薄かった児童同士が楽しい時間・活動を共有することで、新しい人間関係を作るきっかけとなった。



5月 1年生に教えてあげるよ



9月 UFOを飛ばそう



12月 学年集団遊び

(3) 3年生の実践

6月【ベンハムのコマづくり】ほどよい速さで回すと、着色してないコマに色模様が見えるベンハムのコマづくりをした。右向きに回すと内側が赤っぽく、外側は青っぽく色付いて見える。不思議なコマに興味をもった児童たちは、円切りカッターの使い方や模様を描く時のこつなど、教師の説明を真剣に聞いた。作ったコマを回して遊ぶ児童から「すごい!」「できた」と歓喜の声が上がった。児童に知的好奇心を抱かせ、工夫してものを作ろうという意欲を高めることができた。

1月【五色百人一首】五色百人一首を使い、短時間で何度も試合をした。スピーディーな展開ができ、児童が熱中した。いっしょに学びながら古典に親しむことで、学級の雰囲気一段とよくなった。

1月【いろいろなドッジボール】コートの大さに差をつけたり、外野から投げ入れる場所を広げたりして、様々なドッジボールを学年全体で行った。ゲームごとに対戦チームを変え、多くの同級生で交流した。試合が終わると、「もう1試合やりたい」「今度は勝つぞ」とやる気に満ちた声が運動場に響いた。



6月 ベンハムのコマづくり



1月 五色百人一首遊び



1月 いろいろなドッジボール

3 アンケートの結果

1・2学期の学期末に児童・保護者にアンケートを実施し、集約内容を分析した。保護者の多くは、事業の主旨を理解し、好意的に感じている。「活動内容が豊富で、楽しく学校に行くことができるきっかけになる」「安全な学校で子どもが長くいる分、長く働くことができるので助かっている」という前向きな意見が多かった。また、児童・保護者ともプラスワンを「楽しい活動が展開される時間」と認識していることが分かった。児童のアンケート分析からは、異学年と交流して折り紙を作ったり、鬼ごっこで遊んだりした活動を多くの児童が楽しいと感じていると分かった。加えて、それらの活動や体験を通して学べることで「ためになること」と喜びを感じ、自分の力を伸ばす有意義な活動だと実感していると分かった。

保護者のアンケート記述を分析したところ、我が子が安全な学校で仲間とふれあいながら社会性を育んだり、家ではできない貴重な経験を積んだりできることが、プラスワンの活動を支持する一番大きな理由であった。「安心・安全な下校」や「子育て支援」の面においても、好意的にとらえている保護者が非常に多いことも明らかになった。

4 成果と課題・今後の対応

成果として、以下のことが挙げられる。1年の「しっぽとり」は体力づくりや人間関係づくりに「プレゼントづくり」「ウサギとふれあおう」は児童が命の大切さを学ぶのに役立った。2年の活動「1年生に教えてあげるよ」は下級生児童との相互交流を促し、児童の縦の人間関係づくりに効果があった。3年の「ベンハムのコマづくり」「UFOを飛ばそう」では、児童の知的好奇心を高め、楽しみながら作って遊べた。「学年集団遊び」は学年内の仲間づくりを促進する手助けとなった。学年が上がるに従って、自分で作ったり考えたりする活動よりも、他と一緒にやる活動を好む傾向が強く、カリキュラムの工夫をした。

カリキュラムは、学期ごとに活動内容や児童の反応などを手がかりに見直しを図っている。課題として、今後も活動内容を不断に見直し続け、高学年以降に続く児童の学びを支える活動にしていきたい。

今後の対応を以下にまとめる。プラスワンが有意義で、児童が生き生きと楽しく過ごせる活動だと広く保護者や地域の方々に理解してもらえるように、活動の様子を引き続きホームページや学年通信等で周知していく。保護者のアンケート記述には、児童の体力面を心配する意見が少数ながら寄せられた。児童は次第に学校生活に慣れ、2学期後半には体力面の心配も少なくなるが、事業実施にあたって、引き続き児童の体力面を考慮する。特に、1年の導入期には、プラスワンで宿題をする回数を多めにしたり、活動日の宿題を減らしたりして現実に合った展開を図り、家庭で宿題を見ている保護者への支援になり、より児童のためになる展開をしていきたい。

		1年生 1学期 6時間目							
				火					
月	週	日	活動名	内容	場所	児童数(参加者)	児童数(観客)	授業の対応	欠席
7	17		英語のビデオ友達やそう	英語のビデオを鑑賞する。果物ゲーム、ダンスを踊る。	図書室	CD	デンパリン	◎	
5	24		宿題と読書ビデオも読書	宿題と読書を行う。教科書に関するビデオを鑑賞する。	教室	ビデオ		◎	
9	31		しっぽとり	クラス対戦でしっぽごっこを楽しむ	運動場	フラッグ		◎	
9									
10	7		しりとり遊びシャボン玉を飛ばそう	しりとり遊びをする。ストローの先を切って、しりとりだまをつくらせよう。	中庭など	シャボン玉液		○	
11	14		しりとりあそび	シャボン玉遊びをする。しりとりをやつ方を教える。	教室			○	
12	21		みんなでバスケット英語で遊ぼう	宿題と読書を行う。外国語ボランティアさんたちと、英語の歌を歌ったり、読み聞かせをしてもらう。	教室			○	
13	28		七夕飾りを作るみんなであそぶ	七夕の短冊に願い事を書いて、ペアグループで作る。					
13									

学期ごとのカリキュラムの見直し